



平成20年度年間テーマ『自己研鑽と協力同心』

平成20年5月 例会報告 【部会担当例会】

題 目 第一部会担当 【 神道と日本文化 】

開催日時 平成20年5月14日(水曜日)午後6時～

開催場所 釧路キャッスルホテル 1階 海の間

出席者 第一部会5名 第二部会13名 第三部会11名 第四部会6名
出席者 35名(全50名) 出席率 70%

◆会長挨拶◆

今日は第一部会の部会例会です。テーマ「神道と日本文化」を楽しみにしてまいりました。海の守り神、由緒ある神社の歴史、作法について学びたいと思います。最近テレビを騒がしているのは中国問題です。農薬入り餃子問題、チベット問題、オリンピック問題、地震問題など飛躍的な発展を影に隠れていた問題が噴出してきているように思われます。日本も他人事ではなく、危機管理を常々考えておくべきだと思います。

◆退会お知らせ◆

第一部会の三代会員が退会されました。

◆新入会員承認◆

満場の拍手により加藤敏幸様の入会が承認されました。
勤務先:金井石油(株) 役職:社長 業種:石油販売
所属部会は4部会、6月例会より入会となります。

◆例会内容◆

今回は神社のこと、世界の宗教のことを簡単ではありますが、学んでいただきたいと思っております。最後に神社参拝の仕方のビデオをごらんいただきます。

神を祀る神道は古来より日本人の生活と深く結び付き、それは現代まで続いています。冠婚葬祭、元旦の初詣、夏祭りや秋祭り、七五三、厄除、合格祈願や縁結びなど、神社と深く関わってきました。神道は他の宗教と違い厳しい戒律も聖典もありません。自然の恵みに感謝し土地に集まる神を祀る事から始まり、より良い社会、誰もが豊になれる人間関係を目指し、戒律ではなく各自の良心に委ねられてきました。

神道は大きく自然崇拜、祖霊崇拜、伊勢信仰の3つにまとめられます。

自然崇拜とは、古来から日本人は自然の中に靈魂が宿ると考え、恵みを祝い、厄は祓うなど、自然の恩地に感謝してきたわけです。

祖霊崇拜とは、お盆などお彼岸のお参りは、もともと仏教には無く、日本に仏教が伝わり神道の影響を受けて生まれたものといわれています。

釧路あすなろクラブ 6月例会のご案内

5月例会では神道について学びました。第一部会の皆様お疲れ様でした。宗教とは違い地域の生活に密着したもので、自然を大切にする精神は現代のエコロジーそのものです。日本人は古くからエコしていた訳ですね。さて6月例会は第二部会の発表です。テーマは「耐震・旅客ターミナル」。北海道開発局釧路開発建設部築港課長 根本任宏様を講師にお招きし、建設中の耐震・旅客ターミナルについて学びます。

・ ・ ・ ・ 6月例会 ・ ・ ・ ・

■例会内容■ 第二部会発表
熱烈歓迎”飛鳥”「耐震・旅客ターミナル」
講師:北海道開発局釧路開発建設部築港課長 根本任宏様

■開催場所■ 釧路キャッスルホテル
釧路市大川町2-5
TEL.0154-43-2111

■日 時■ 平成20年6月11日(水曜日)
食事 午後6時より
例会 午後6時30分より

事務局よりお願い 用意した食事と予算を無駄にしないためにも、
やむを得ず出欠予定を変更される場合は必ず各部部长さんへ連絡してください。

■出欠連絡■ 締め切り 6月4日(水)必着
★出欠・食事の有無に○を付け、各部部长さんへFAXお願いします。

氏 名 _____.

6月例会 出席 ・ 欠席
食事 有 ・ 無

■各部部长およびFAX番号■

第一部会 菊池吉朗 43-2974 第二部会 服部恵子 37-7008
第三部会 坂本裕人 36-8731 第四部会 谷口耕二 25-2690